

第14回日本医学脱毛学会総会

第7回中央研究会

THE 14TH CONGRESS
OF
JAPAN SOCIETY OF HAIR SURGERY & MEDICINE

プログラム

抄録集

平成12年 2月11日(金・祝) 12日(土)
(2000年)

東京千駄ヶ谷駅前

『津田ホール』

ごあいさつ

第14回日本医学脱毛学会総会
大会長 若松 信吾

昨年の今頃は、この大会を世界医学脱毛学会にするとの決意を示していたのですが、その後レーザー脱毛が、あっという間に日本中に広まり、その有効性はほとんど疑う余地がないものとなり、世界大会まで開催してレーザー脱毛の有効性についてだめ押しをする必要がなくなったというのが事実です。臨床的な実績が学問的な逡巡を吹き飛ばしてしまったこととなります。この一年間は大変目まぐるしく展開し、レーザー脱毛の簡便さから医学的に行われていた脱毛の分野にレーザーを使用してエステの参入が相次ぎました。当学会としまして国民の健康を守るために、エステがレーザー脱毛を行うことは違法であり、その中止を訴えるべく、厚生省への働きかけや新聞広告による一般へのアピールを行うことに相当なエネルギーを注ぎ込みました。

厚生省への働きかけや一般へのアピールは今後も強力に推し進めますが、この運動の途中で気がついたこととして、これまでの医療側の対応が自らがサービス業であることの認識不足から、一般に言われているサービス業の常識からかけ離れていることがわかりました。違法を訴えるだけでなく、自らがサービス業としても十分に競合できるような意識の変革と方法論を整えていく必要があると痛感されました。そこで、今年は通常の学会とは若干趣向を変えてより魅力的なクリニックの運営法はどのように行われるべきかとのシンポジウムを行うことに致しました。クリニックの繁栄なくしては、皆さんの幸福も学会の繁栄もあり得ません。クリニック運営の先進国であるカナダの先生に講演をしていただくと共に、脱毛の他にクリニックでの需要が高いと考えられるしみ取り用の新しいレーザー装置についても講演をお願い致しました。ご期待下さい。

本学会は日本における脱毛に関する学術研究上のリーダーであり、モラル上の問題をも含めて一般の規範ともなっております。学会員一同更なる研鑽をつみ国民の福祉に貢献されますことを祈ります。

◆歴代の会長及び理事長

旧日本医学脱毛協会（昭和62年 1月31日）

	会長	理事長
第 1 回 昭和62年	杉本 孝郎	小林 敏男
第 2 回 昭和63年	杉本 孝郎	小林 敏男
第 3 回 平成 元年	渡部 純至	小林 敏男
第 4 回 平成 2年	福田 金寿	玉田 伸二
第 5 回 平成 3年	福田 金寿	玉田 伸二
第 6 回 平成 4年	福田 金寿	小林 敏男
第 7 回 平成 5年	福田 金寿	小林 敏男

日本医学脱毛学会（平成 5年 1月31日改名）

	学会会場	会長	理事長
第 8 回（第 1 回中央研究会）	平成 6年 東京羽田	若松 信吾	玉田 伸二
第 9 回（第 2 回中央研究会）	平成 7年 東京羽田	若松 信吾	玉田 伸二
第10 回（第 3 回中央研究会）	平成 8年 東京羽田	石川 修一	若松 信吾
第11 回（第 4 回中央研究会）	平成 9年 東京津田ホール	松本 敏明	若松 信吾
第12 回（第 5 回中央研究会）	平成10年 東京羽田	若松 信吾	若松 信吾
第13 回（第 6 回中央研究会）	平成11年 東京津田ホール	野田 宏子	若松 信吾
第14 回（第 7 回中央研究会）	平成12年 東京津田ホール	若松 信吾	若松 信吾
第15 回（第 8 回中央研究会）	平成13年 未定	山本 貴弘	若松 信吾

◆日本医学脱毛学会役員

理事長 若松 信吾

会長 若松 信吾

機関誌編集委員会委員長 若松 信吾 副委員長 玉田 伸二

学術委員会委員長 若松 信吾 副委員長 松本 敏明

認定委員会委員長 若松 信吾 副委員長 水谷 智子

認定委員 塩谷満寿美

教育委員会委員長 水谷 智子 副委員長 石川 修一

指導施設委員会委員長 小林 敏男 副委員長 野田 宏子

広告・会員担当理事 小林 敏男 副委員長 浜口 雅光

会計担当理事 野田 宏子 副委員長 鈴木 弓 玉田 伸二

事務局担当理事 若松 信吾 副委員長 野田 宏子

監事 高橋 逸夫

日本医学脱毛学会事務局

〒116-8567 東京都荒川区西尾久2-1-10 東京女子医科大学附属第二病院形成外科内

TEL・FAX 03-3810-1512

◆参加御案内

1. 受付は当日でも可能です。9：00より会場にて行います。

2. 参加登録料および懇親会費

会員	1) 前登録	10,000円
	2) 当日会費納入	12,000円
	3) 懇親会費	5,000円
非会員	1) 参加費	30,000円
	2) 懇親会費	5,000円

3. お問い合わせ先

〒116-8567東京都荒川区西尾久2-1-10 東京女子医科大学附属第二病院形成外科内
第14回日本医学脱毛学会総会・第7回中央研究会事務局
TEL・FAX 03-3810-1512

4. 参加登録料振込先

三和銀行 三河島支店
普通口座 3721226
加入者名 第14回日本医学脱毛学会世界大会 会長 若松 信吾

◆発表者および質問者への御案内

1. 演題発表時間

一般演題の発表時間は7～8分間、質疑応答は2～3分間、持ち時間は10分間とします。

2. スライドは単写となります。枚数制限はありません。後方の席からも読めるようなスライドと映写時間をお願いします。

また、説明はスライドを必ず用意し、聴いている方にわかりやすいようにお願いします。

3. スライド進行は口頭で指示して下さい。

4. 質問者

質問・討論をされる方はマイクの前で待機し、座長の指示に従って所属・氏名を告げてから、要点を簡潔をお願いします。

◆関連会議の御案内

1) 総会

日時：平成12年 2月11日（金・祝）12：30～12：50
出席資格：正会員および準会員（但し、準会員に発言権はありません。）
場所：大ホール

2) 理事会

日時：平成12年 2月10日（木）21：00～22：30
場所：小田急サザンタワーホテル内「シェンロン」

3) 教育委員会

日時：平成12年 2月11日（金・祝）11：30～12：30
場所：会議室T105

◆関連行事の御案内

1) 懇親会

日時：平成12年 2月11日（金・祝）18：00～19：30
場所：津田ホール地下1階「ユーハイム」

2) 器械展示

日時：平成12年 2月11日（金・祝）12：00～18：00
2月12日（土） 10：00～15：00
場所：会議室T101・102

プログラム

◆2000年 2月11日 (金・祝)

◇9:30~9:35 開会式

◇9:35~10:30 併催展示会出展企業宣伝・実演

◇10:30~11:30 海外招待講演

司会 若松信吾

「A Clinical Comparison of Diode versus Long Pulse Alexandrite for Laser Assisted Hair Removal」

Robert M. Adrian, M.D

Assistant Clinical Professor

Georgetown University Medical School

Center for Laser Surgery Washington, D.C USA

◇11:30~12:30 一般演題A

座長 鈴木 弓

- | | | |
|-------------------------|---------------|--------|
| ①「アレキサンドライトレーザーの使用経験」 | 神戸大学附属病院形成外科 | 杉本 庸 他 |
| ②「当院におけるダイオードレーザーの使用経験」 | 神奈川美容外科クリニック | 伊澤克巳 他 |
| ③「アレキサンドレーザーとエピライトの比較」 | ちば美容形成外科クリニック | 野田宏子 |
| ④「母斑毛に対するレーザー脱毛術の効果」 | 札幌スキンケアクリニック | 松本敏明 他 |

◇12:30~12:50 総会 (軽食をご用意致します。受付にてお受け取り下さい。)

◇13:00~14:00 一般演題B

座長 杉本孝郎

- | | | |
|--|------------|--------|
| ⑤「レーザー脱毛と毛根水分量の関係」 | 徳島皮フ科クリニック | 玉田伸二 他 |
| ⑥「カーボンローションを用いたQ-switched Nd:YAG Laserによる脱毛治療経験・第3報」 | 東京女子医大第二病院 | 大木理香 他 |
| ⑦「レーザー脱毛時の疼痛緩和の為に冷却材 (ポライア) を針脱毛時の疼痛緩和に使用しての試み」 | 佐野クリニック | 岡村典子 |
| ⑧「LPIR. (第3報) 皮膚伸展手技の有用性、ゴムバンドを用いたモデルでの実験」 | 佐野クリニック | 佐野 徹 |

◇14:00~14:50 海外招待講演

司会 玉田伸二

「海外におけるクリニック運営法」

Robert Stephen Mulholland, M.D

Maketing and Cosmetic Surgical Consultant

Numerous Canadian and U.S. Companies

Director, Owner

Spamedica Cosmetic Surgery and Skin Care Centre

◇15:00~16:30 シンポジウム

司会 小林敏男

「より魅力的な脱毛クリニック運営法」

R.Mulholland, M.D・小林敏男・山子大助・山本貴弘

◇16:30~17:10 海外招待講演

司会 松本敏明

「インテンスパルス方式による最新治療-色素性病変・血管拡張性病変および脱毛」

Robert Stephen Mulholland, M.D

◇17:10~17:50 海外招待講演

司会 野田宏子

「Long Pulse 532: A New Option for Pigmented Lesion Treatment」

William K.K.Fung, M.D.

香港大学 皮膚科

Causeway Bay, Hong Kong

◇18:00~19:30懇親会

弦楽四重奏 (松本佳奈子・水沢由美子・御法川雄矢・高木慶太)

◆2000年 2月12日 (土)

◇10:00~11:00 レーザー脱毛講習会A・基礎と理論 (講演形式)
大ホール

◇11:00~14:00 レーザー脱毛講習会B・実技指導
会議室T101・102

①
*p273
5 mSec

34月後

肉のC
赤毛

②
小本
717-10
帯の口周りに 17-guit.
30ml Sec. 痛み強

③
0.5 mSec 5mm 2点
5mm 7mm
20msec.. 5mm 2点 → 皮膚の温度低下

2点以上 太さ、毛の色
1.5mm 300msec迄、変えたら → 痛み
645, 649-695 mm

④ LPLC 24回以降

YAG. カーボキシ-レーザー
P.P. 10-15mm 2回以上

The 14th Congress of Japan Society of Hair Surgery & Medicine

Date and Program Feb.11th.2000.

- ◇9:30-9:35 Opening Ceremony
- ◇9:35-10:30 Presentations by Exhibitors
- ◇10:30-11:30 Special Lecture from abroad 1.(A Clinical comparison of Diode versus Long pulse alexandrite for laser assisted hair removal) R.Adrian,M.D.(USA)
- ◇11:30-12:30 Paper 1
 - 1.Experiences of Alexandrite Laser hair removal. Y.Sugimoto,M.D.
 - 2.Experiences of Diode Laser hair removal. K.Izawa,M.D
 - 3.Comparison of Alexandrite Laser and Epilight for hair removal. H.Noda,M.D.
 - 4.Effectiveness of Laser Hair Removal for hairy Nevi. T.Matsumoto,M.D.
- ◇12:30-12:50 General Meeting
- ◇13:00-14:00 Paper 2
 - 1.Relationship between Laser Hair Removal and Hair Root Water Contents. S.Tamada,M.D.
 - 2.Hair removal by Q-switched YAG laser with Carbon cream. R.Oki,M.D
 - 3.Exprimental usage of Cooling device for hair removal. N.Okamura,R.N.
 - 4.Effectiveness of skin extension for Hair removal,experimental work. T.Sano,M.D.
- ◇14:00-14:50 Special Lecture from abroad 2.(Hair removal clinic management)
R.Mulholland,M.D(CANADA)
- ◇15:00-16:30 Symposium (More attractive management of hair removal clinic)
R.Mulholland,M.D.,T.Kobayashi,M.D.,D.Yamako,M.D.,T.Yamamoto,M.D.
- ◇16:30-17:10 Special Lecture from abroad 3.(New treatments with intensed pulse photocoagulation device) R.Mulholland,M.D.
- ◇17:10-17:50 Special Lecture from abroad4.(Long Pulse 532: A New Option for Pigmented Lesion Treatment) W.Fung,M.D.(Hong Kong)
- ◇18:00-19:30 Welcome party

Date and Program Feb. 12th. 2000.

- ◇10:00-11:00 Laser hair removal course, basics and theory
- ◇11:00-14:00 Laser hair removal course, hands out

抄 録 集

◇ 「A Clinical Comparison of Diode versus Long Pulse Alexandrite for Laser Assisted Hair Removal」

Robert M. Adrian, M.D
Assistant Clinical Professor
Georgetown University Medical School
Center for Laser Surgery Washington, D.C USA

The 800 nm diode and 755 nm alexandrite are only 45 nanometers apart and have similar absorption characteristics in melanin and hemoglobin, but are quite different in their pulsing mechanism and delivery method. These differences require unique treatment setting parameters for fluence and exposure time, and the lasers have quite different effects on the skin. Based on several hundred treatments performed with both wavelengths several factors are compared. Objective factors including pre and post treatment regimens, energy and exposure parameters, number of treatments, post-operative complications, and efficacy are compared as well as subjective factors including ease of use, safety, and patient acceptance.

◇ 「Long Pulse 532: A New Option for Pigmented Lesion Treatment」

William K.K.Fung, M.D.
香港大学 皮膚科

Since the development of the theory of Selective Photothermolysis by R.Rox Anderson and John Parrish, extremely short “Q-switched” pulsed lasers in the 500–1100 nanometer range have been commonly used for pigmented lesion treatment. Such short nanosecond pulsed lasers have been shown to be clinically effective in the treatment of many kinds of epidermal and dermal pigmented lesions, but extremely short pulse durations often cause temporary, cosmetic, epidermal and dermal damage that many patients dislike. Recently, a long pulse 532 nanometer laser has been used to treat pigmented lesions in an attempt to provide a high level of treatment efficacy without inducing epidermal and dermal damage. This non Q-switched wavelength, adjustable from 2–50 milliseconds, provides excellent efficacy with minimal complications in comparison to Q-switched lasers.

一般演題

1. アレキサンドライトレーザー（キャンデラ社製）の使用経験

神戸大学附属病院 形成外科 杉本 庸
杉本美容形成外科 杉本 孝郎

現在、レーザー脱毛に関しては、ロングパルスアレキサンドライト、特にLPIRが主として使用されている。今回CANDELA社製のアレキサンドライト（GentleLASE™）を用いた脱毛を行ったので、報告する。

GentleLASE™ は、パルス幅が3 msecとLPIRに比べ短く、皮膚へのダメージの軽減と鎮痛が得られるようにクーリングデバイス（1,1,1,2-テトラフルオロエタン）が備わっている。レーザーでは脱毛困難とされる軟毛についても症例を供覧する。

2. 当院におけるダイオードレーザー（Light Sheer）の使用経験について

神奈川美容外科クリニック 伊澤 克巳 山子 大助

昨年9月より、当院でもダイオードレーザー（Light Sheer）を用いた脱毛を行っている。まだ症例数も少なく、観察期間も短いですが、この使用経験について報告する予定である。

3. アレキサンドライトレーザーとエピライトの比較（軟毛を対象）

ちば美容形成外科クリニック 野田 宏子

サイノシユア社のアレキサンドライトレーザーを3年前9月に、エピライトを昨年5月に導入した。手技的には慣れもあってアレキサンドライトレーザーが扱いやすく、硬毛は殆どこれでやっている。軟毛に対しては20 mSでは効果が不十分なためエピライトを導入した。サイノシユアのアレキサンドライトレーザーには5 mSに装置を改良すれば20 mSと併用が可能であるがメーカーの設定とは異なり20 mS用ハンドピースを用いて軟毛脱毛に用いた。

この方法による3ヶ月の結果をまとめる。

4. 母斑毛に対するレーザー脱毛術の効果

札幌スキンケアクリニック 松本 敏明 巖 文哉

有毛性色素性母斑やベッカー母斑などの硬毛を有する母斑では、あざの色調はレーザー治療で軽快するが、毛根が残存すると皮膚に黒みが残るのが問題であった。従来は絶縁針電気脱毛術で母斑毛を処理していたが、乳幼児期の針脱毛術は困難であった。レーザー脱毛術は短時間で治療できるので、母斑の早期治療に応用できることがわかった。しかし母斑の皮膚色が十分に回復しないままにレーザー脱毛術を行うと、潰瘍化などの皮膚損傷を生じる可能性がある。LPIR（synosure）を用いた母斑毛のレーザー脱毛術について、若干の治療経験を述べる。

5. レーザー脱毛と毛根水分量の関係

徳島皮フ科クリニック 玉田 伸二 撫中 美加

バックグラウンド：毛根または毛根周囲の水分量は、脱毛用アレキサンドライトレーザー（LPIR）の効果に影響を与えているか？

方法：ボランティアの頭髪の半分を38℃のお湯に三分間浸し、亀井の実験モデルを用い、レーザー照射後の毛根破壊状態、周辺白紙の変色範囲を、未浸透部と比較検討した。

結果：毛根破壊状態、周辺白紙の変色範囲ともに、お湯に浸した方が未浸透よりも、毛根破壊状態は弱く、周辺白紙の変色範囲も狭かった。

結論：レーザー脱毛直前に入浴、スチーム浴などは、レーザー脱毛効果を減弱する可能性があることが分かった。

6. カーボンローションを用いたQ-switched Nd:YAG Laserによる脱毛治療経験（第3報）

東京女子医科大学附属第二病院形成外科 大木 理香 我妻 恭子 若松 信吾

当院ではカーボンローションを併用したQ-switched Nd:YAG Laser（Thermolase社製・SoftLight100）による脱毛治療を行っている。各部位における脱毛効果や照射後の皮膚状態、患者の満足度などについて引き続き報告する。

7. レーザー脱毛時の疼痛緩和の為の冷却材（ポライア）を針脱毛時の疼痛緩和に使用しての試み

佐野クリニック 岡村 典子

脱毛時の疼痛は患者個人により差がある。また、部位、毛質、肌質によっても異なる。従来から針脱毛は、疼痛緩和のひとつとしてアイスパックを使用することで痛みの軽減を図っている。近年レーザー脱毛がブームになっている。それに伴い、疼痛緩和の為の冷却機も使用されるようになった。

針脱毛、レーザー脱毛それぞれに利点、欠点はあるが、いかに患者が楽に、また術者が安全、確実、簡便に脱毛を行うことができるかが問題である。今回レーザー脱毛の冷却機（ポライア）を針脱毛時の疼痛緩和に利用できないものかと考え、脱毛施行を試み疼痛の緩和を検討してみた。

8. LPIR（第3報）皮膚伸展手技の有用性、ゴムバンド（エスマルヒ）を用いたモデルでの実験

佐野クリニック 佐野 徹

皮膚が伸びやすく、毛包が深い部位において、皮膚伸展手技下にレーザー照射をすることは、脱毛効率を上げ、皮膚熱傷を予防する上で、十分に評価できるものと考えられる。エスマルヒを皮膚にみたくて、毛軸と、直径1cmのマジックで、10×15cmの板面でLPIR20 e m18Jを照射した。

2cm伸展した方では、レーザー光の透過を示す毛および、黒マジック周辺のゴムの融解がみられるが、伸展しない方は、変化をみなかった。皮膚を伸展することで、メラニン拡散と圧迫による血行の減少で、ヘモグロビンに吸収され減衰するレーザー特性から、より深くまでレーザー光の到達が可能となると思われ、これが脱毛効率及び、皮膚熱傷の予防に関与すると考えられる。

第14回日本医学脱毛学会総会
第7回中央研究会 事務局
THE 14TH CONGRESS
OF

JAPAN SOCIETY OF HAIR
SURGERY & MEDICINE

東京女子医科大学附属第二病院形成外科内
〒116-8567東京都荒川区西尾久2-1-10
TEL・FAX 03-3810-1512
会長 若松 信吾

● 交通のご案内 ●

